

プレス発表資料

平成24年 2月20日

独立行政法人防災科学技術研究所

「積雪断面観測講習会」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所(理事長：岡田義光)は、(社)日本雪氷学会と共同で平成24年2月25日(土)に新潟県長岡市で「積雪断面観測講習会」を開催します。本講習会は、積雪地の防災関係者・施設管理者らに積雪の性質、観測方法及び雪氷防災について正しい知識を身につけていただくこと、また広く一般の方に積雪の観察を通じ科学への関心を高める機会を提供することを目的としています。

本講習会では初心者も分かりやすく学べる様に、講義を受けた後、積雪の観測方法を野外実習します。

1. 主催：(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター、
(社)日本雪氷学会北信越支部及び関東・中部・西日本支部
2. 日時：平成24年2月25日(土) 13:00-16:00
3. 場所：(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
新潟県長岡市栖吉町前山 187-16
4. 参加費：500 円
5. 内容：別紙参照(講習会参加者には資料を配布します。)
6. 募集方法：
ホームページなどにより募集のお知らせをします。また、Fax、電子メールによる参加申込の受付をします。
7. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会
長岡市記者会、長岡地域記者会、新潟県政記者クラブ
新潟新県政記者クラブ

【内容に関するお問合せ】

(開催地：新潟県長岡市)
独立行政法人 防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター
佐藤 威
TEL：0258-35-8933
FAX：0258-35-0020

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
アウトリーチグループ
佐竹、松宮
電話：029-863-7783
FAX：029-851-1622

【補足資料】

積雪断面観測講習会のご案内

本年は年初から豪雪に見舞われ、多くの雪氷災害が発生しています。雪氷災害を未然に防ぐには、時間や温度変化に伴い多様に変化する積雪の性質を正しく理解しておくことが必要です。積雪断面観測は、積雪の状態を正しく把握し、記録するために行います。これにより、雪崩や吹雪などの雪氷災害がなぜ起こるのか、あるいは、積雪が水資源としてどれだけあるのかなどを、定量的に解き明かすことが可能になります。また、道路除雪や屋根雪処理を効率的に行なうためにも必要不可欠なものです。

今年度も（独）防災科学技術研究所、（社）日本雪氷学会北信越支部と関東・中部・西日本支部では、共同で以下の通り「積雪断面観測講習会」を開催し、初心者でもわかりやすく学べるようにベテランスタッフによる講義および実習を行います。なお受講された方には修了証書を発行します。

日 時：2012年2月25日（土）

13:00～16:00頃まで（若干変更する可能性があります）

場 所：新潟県長岡市（独）防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

参加費：500円程度（保険、資料代含む）。当日徴収いたします。

募集人数：30名まで

主 催：（独）防災科学技術研究所

（社）日本雪氷学会北信越支部

（社）日本雪氷学会関東・中部・西日本支部

申込先：〒185-8540 東京都国分寺市光町2-8-38

（公財）鉄道総合技術研究所

積雪断面観測講習会事務局 鎌田 慈

（電話：042-573-7264, Fax: 042-573-7398, Eメール：kamata@rtri.or.jp）

講 師：佐藤篤司、上石勲、山口悟（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）、河島克久（新潟大学 災害復興科学センター）、鎌田 慈（鉄道総合技術研究所）

過去の「積雪断面観測講習会」の様子



野外での積雪断面観測実習



専門家による雪に関する講義